

ぱーとなー

2005年 5月
第42号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

◎ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

◎ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

◎ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

◎ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

理想的なチーム医療を目指して！

耳原総合病院では、医療機能評価の取得以降、薬剤師が当直体制を実施しております。病院内の医薬品の適正使用については無論、医師、看護師が日常扱う医薬品による医療事故、誤投薬を防ぐ努力をしております。また、処方箋の内容確認を確認して、オーダーした医師に疑義紹介も24時間行っており、入院患者様への夜間調剤、看護師からの薬品情報の問い合わせの対応、夜間の薬の調剤、救急外来患者様の薬物中毒や誤薬の中毒情報を医師と連携して行っています。

● 医療安全対策への取り組み

薬物使用における危険を、最少の範囲で抑える「リスクマネジメント」に対する薬剤師の役割は、多種にわたります。抗生剤の皮内テストの廃止、入院時の持込薬品の取り扱いや、電子カルテ入力の際のトラブルの解消など、臨床の場で起こる様々な問題をリスクマネージャー、MEと協力して医療安全対策へ取り組んでいます。

● 院内感染対策への取り組み

院内感染における薬剤師の関わりは、薬剤情報の提供、管理、薬剤の適正使用に関するアドバイスがあります。具体的には、ICTのメンバーとして、院内で使用する抗生剤の各科別投与量や、MRSAに使用する抗生剤やいろいろな菌に幅広く効く抗生剤の症例をICT委員会に報告しています。消毒剤の使用に関する情報提供、使用量の調査も重要な感染対策の取り組みです。



● 糖尿病教育入院への取り組み

2週間の教育入院期間中で、インシュリンの種類と使い方、糖尿病の種類と使い方について講義しています。医師、看護師、栄養士でスタッフ会議をひらいて、入院患者様の理解、知識を深めてもらえるようがんばっています。



今後ともスタッフ一同頑張りますので、ご支援よろしく願いいたします。

《公開保健講座のご案内》

テーマ：性の健康

「性」の問題について助産師がお話しします。一緒に勉強してみませんか？

日時：2005年 4月16日（土） 午後2時～3時30分
講師：前田 泰子（助産師）
会場：みみはら高砂クリニック 3階多目的室

各講座ともお申し込みは不要です。当日直接会場へお越し下さい。
※公開保健講座に関するお問い合わせは、地域医療室までお願いいたします。
（電話 072-241-0501 内線 466）

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせ予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆